

栃木県版適応策リスト(概要版)

分類	栃木県内の適応策	時間	コスト	効果	導入の 難易度	実施・関係主体				
						生産者	行政	研究者	JA等	企業
時期	出穂後20日間の平均気温26.5℃を超えないように、移植時期を遅らせる	短～中	低	低～中	中	○	(○)		(○)	
	出穂時期が遅くなるように、直まき栽培等を行う				易					
	品質が低下しないよう刈り遅れを防ぐ				易					
施肥	イネの栄養状態を確認しながら追肥を行う	短	低	低～中	中	○	(○)		(○)	
	元肥から肥料の溶け出す速さを調節できる肥料を使用する				易					
耕法	作土深15cm以上を確保し、栽植密度坪60株で植える	短	低	低～中	易	○	(○)		(○)	
水管理	高温が想定される場合は適切な日数や時間でのかけ流し灌漑を行う	短	低	低～中	中	○	(○)		(○)	
	適切な日数や深さでの深水栽培を行う				難					
	移植後1ヶ月以降、間断かん水を続ける				易					
予測	ドローン搭載のマルチスペクトルカメラを活用した水稻における生育診断・予測技術の開発に取り組む	中	中	高	中	○		○		○
品種	高温耐性品種である「とちぎの星」について、作付拡大や品質向上に取り組む	短～中	低	中～高	中	○	(○)		(○)	
	新たに高温耐性品種を開発する	長	高	長期的 には必須	難	○	○	○	(○)	○